



南高 SSH だより

第3号
令和2年12月2日
新潟南高等学校
SSH 総務部発行

国際大学オンライン研修

グローバル研修参加者 64 名（理数コース 41 名、普通科 23 名）が、アメリカ研修の代替として魚沼市にある国際大学と連携したオンライン研修に参加しました。64 名の生徒を 3 グループに分け、一日 3 時間の研修を 10/20, 10/21, 10/27 に行いました。アメリカのラスベガスにいる講師の方と南魚沼市の国際大学、新潟南高校の 3 地点をズームでつなぎ、午前午後 3 時間の研修です。ズームを使うのが初めての生徒が多く、全行程英語でのやり取りということもあり、生徒たちはとても緊張していました。しかし、研修終了時には生徒たちの表情は和らぎ、講師の方の説明を理解することができたという達成感や今後の活動への意欲を口にする生徒が多くおりました。

ズームを接続するにあたり、同窓会でレンタルしているタブレットや生徒個人の端末を使い、「江風ネット」（新潟南高校独自の Wi-Fi 環境）が整備された本校図書館 2 階を会場としました。研修自体はスムーズに進みましたが、問題点もありました。ズームは使用電力が多く、午前中の研修が終了前に、端末やワイヤレスイヤフォンの充電がなくなる生徒が続出しました。急遽、校内にある充電器で充電したり、有線イヤフォンを用意したりして何とか午後の研修開始まで間に合わせることができました。

12 月と 1 月にかけて、国際大学のキャンパスでプレゼンテーションの実践研修を行う予定です。

（学習内容）

＜プレゼンテーション＞

- プレゼンテーションの文章構成
- プレゼンテーションの進め方

国際大学（IUJ）：世界のさまざまな国や地域の人々、あるいは、政府・企業・NGO等の組織が直面するグローバルな問題の実践的解決に貢献できるリーダーを育成するための大学院大学

講師紹介： Michael Mondejar(マイケル・モンデハー)

国際大学言語教育研究センター講師兼英語研修コーディネーター

担当科目：プレゼンテーション

研修後の生徒の感想より

- 課題として出された先輩のポスターを見た時には、分かりやすく見本にすべきだと思っていましたが、研修を進めポスターの修正を進めると、「矢印」を一つ使うだけでとても分かりやすくなり、文章を少し変えるだけで、聞き手の理解を深めることができることを知りました。今後のポスター作りに活かしていきたいと思います。
- 今回の研修に参加し、自身の「積極性」不足を実感しました。自分の意思でグローバル研修を選択したからには南高生を代表する姿勢で取り組むべきだと思いました。

